

苫小牧市長 様

2021年11月17日

【命と平和の鐘】設立を願う苫小牧市民の会  
共同代表 出雲路英淳 森山弘毅

## 【命と平和の鐘】設立の要望書

この2年近い世界中を襲った新型コロナウイルスで、私達は多くの命や日常にあった大切なものを失いました。しかし戦後75年の昨年、苫小牧市と市教育委員会等々の後援の元すすめられた【あったらいいネこんな鐘・平和の鐘プロジェクト】には、幅広い市民の皆さんから沢山のアイデアが寄せられ、若者たちからは地球規模の視点、21世紀の新たな課題に向き合う、前向きな素晴らしい提案がありました。「この若者や市民の声を街づくりに」と鐘設立を願う市民の会が結成され、さらに広く市民への呼びかけが実施されました。コロナ禍の厳しい条件の中にも関わらず、設置を求める幅広い市民や近隣市町村はじめ関心を持って見守り、支援に応じて下さる他市町村の方々、本当に多くの方々から署名と基金への募金が寄せられました。

ここに行政のこれまでの広島派遣事業や、市民の長年の様々な平和の取り組みが受け継がれ広がって行くことを願うと共に、困難を抱える今だからこそ、希望に向かって互いにエールを送りあえる、市民のアイデアを活かした鐘の実現を求めます。

### 【設立要請趣旨】

- 1:2021年1月22日国連の核兵器禁止条約が発効。被爆者と共にその願いを広めていくために。
- 2:2022年道内唯一の『非核平和都市条例』20周年を記念し、その恒久平和を改めて誓うために。
- 3:コロナ禍で学んだ【命の尊厳】と【他者への思いやり】を後世に伝えていくために。
- 4:東日本大震災から10年、阪神淡路、胆振東部等々度重なる大地震や各地の豪雨等の災害。  
その多くの犠牲になられた方々のご冥福を祈り、その事を記憶し、復興を祈念するために。
- 5:次世代に安心安全な地球を手渡せるよう、持続可能な社会を共にめざすために。

### 記

- 1・『核兵器の廃絶と平和を願うまち』苫小牧市・『非核平和都市条例制定のまち』苫小牧市市庁舎に掲げられた懸垂幕の誓いの言葉を、明日へ継ぐ  
《未来を拓く街のシンボル》として、【命と平和の鐘】の設立を求めます。
- 2・市民が集い、憩える場所として、街の中心部のパブリックスペースでの設置を求めます。